



NME News

Nutritional Management Expert News

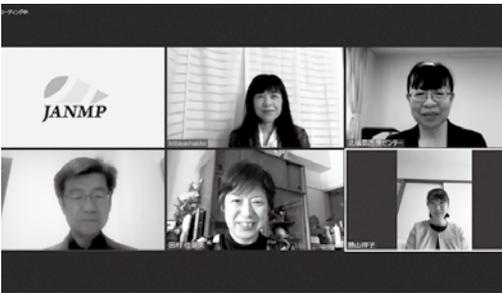
栄養経営士のための情報紙

2021
3月号

●発行/一般社団法人
日本栄養経営実践協会
(JANMP)
〒104-0032
東京都中央区八丁堀3-20-5
S-GATE八丁堀9階
●制作/株式会社日本医療企画

お問い合わせ先/一般社団法人 日本栄養経営実践協会 事務局 TEL.03-3553-2903 FAX.03-3553-2904 http://nutrition-management.jp

日本栄養経営実践協会 新支部設立 全国6番目となる東北支部が誕生!



設立発起人集会はオンラインで開催された。下段左から朝倉徹支部長、田村佳奈美理事、勝山祥子理事、上段中央が小林明子理事、右が角田真佐枝理事

5名の役員を選出し 支部活動を本格始動
当初の予定では2020年3月20日に東北支部の設立および記念セミナーを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により当面延期とされた。しかし、こうした難しい環境下だからこそ、栄養経営士の活動事例の共有や医療職としての横のつながりの重要性が増しており、東北支部活動をスタートさせるべきと判断。オンラインにて設立発起人集会を開催

東北の栄養経営士ネットワークを構築 さらなる会員の拡充を目指す

2月20日(土)、日本医療経営実践協会東北支部設立発起人集会および第1回理事会を開催し、全国6番目の支部として東北支部を正式に発足した。コロナ禍の困難に力を合わせて乗り越えるべく、東北地域における栄養経営士の実践活動とその共有が期待される。

し、当日は計5名が出席した(表)。冒頭に各々自己紹介を行い、その後、役員を選出。協会事務局から支部長に朝倉徹氏を推薦し、出席者は全員一致でこれを承認した。加えて4名の理事が承認された。「将来的には東北6県すべての県から理事を選出し協力を増やしていくべきではないか」との意見が上がり、これに一同賛同した。

栄養・食事分野の新たな地域拠点の構築へ
続いて東北支部会則案や、事業計画案などが審議され、いずれも承認された。東北支部の役割として「継続研修の実施」「栄養経営の基礎知識の習得」「会員相互の連携や情報交換」等が挙げられたほか、東

東北支部支部長あいさつ

日本栄養経営実践協会 東北支部支部長
独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)
仙台南病院院長
朝倉徹



この度2月20日に全国6番目の支部として、東北支部設立のはこびとなり、支部長に就任させていただきました。設立に際し、ご協力いただいた関係者の皆様には厚く御礼いたします。小生はかつて管理栄養士養成大学で教鞭を取った経験や、日本臨床栄養学会の医師教育セミナーであるTNTに初期から関わってきた経緯などもあって、微力ながらお引き受けした次第です。

昨年来、新型コロナウイルス感染症:COVID-19の蔓延により社会活動が全面的に制限され、医療業界でも様々な点で影響を受けダメージも加わりました。COVID-19診療にあたり、病院では専用病棟を用意するなど感染予防を徹底し、職員のワクチン接種も始まっております。最近になって全国的には何とか感染の抑え込みに向かっております。一方で高齢者の巣籠りや医療機関への受診抑制が長引き、フレイルや生活習慣病の悪化の問題も出てきました。ウィズコロナ、ポストコロナにあっては食生活の基本に立ち返った介入が求められており管理栄養士のスキルを活かす機会と捉えるべきです。

医療機関の経営が非常に厳しくなっている状況では、病院栄養士一人ひとりにも経営の視点に立った業務や活動が求められます。医療や介護を取り巻く環境が変化する中では、かつての常識や働き方も変わってきております。栄養経営士を取得された皆様にはそれぞれの組織において、多様に発想する力と、そのために情報を収集する力、それを基に行動する力——言い換えればマネジメント力が求められるのです。

本年は協会本部主催の「全国栄養経営士のつどい」を7月18日(日)に仙台からハイブリッド開催いたします。さまざまな地域や立場で働く栄養経営士の実践が、全国の仲間たちに広がり、多くの改革につながっていくものと考えておりますのでぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしております。

最後になりますが、東北支部の設立により、研究会活動を通じた栄養経営士のスキルアップはもちろんのこと、東北地域の管理栄養士の新たなネットワークの構築に繋がり、皆様の新たなステージへの足がかりとなるよう、またそれが医療・介護業界の発展に大きく貢献できることを祈念しております。

北の会員数が54名という現状を踏まえ、「21年度中に会員数1000名を目指す」とともに、「栄養経営士取得者のスキルアップだけでなく、東北地域の管理栄養士や栄養・食事分野に関わる方の新たな地域拠点の構築に繋がる活動を進めていく」等の方針が議論を

経て共有された。今後の東北支部の活動としては、3月28日(日)に協会本部理事吉田貞夫氏の講演をはじめ、東北栄養経営士による実践報告、ディスカッションを行う設立記念WEBセミナーを開催。次いで、7月18日(日)に栄養経営士にとって最大のイベントとなる「第6回全国栄養経営士のつどい」を都の都仙台から現地とオンライン配信のハイブリッド方式で開催する(詳細は次号)。

東北支部における栄養経営士の実践活動と共有が、コロナ禍の厳しい状況乗り越え、東北地域の栄養の明日を切り拓く礎となる。ぜひ一人でも多くの栄養経営士に参加いただきたい。

日本栄養経営実践協会 東北支部 役員一覧

支部長	朝倉徹氏	独立行政法人地域医療機能推進機構仙台南病院院長
理事	勝山祥子氏	医療法人ベテールてんかん専門病院ベテール栄養科長候補/栄養経営士
	角田真佐枝氏	公益財団法人仁泉会北福島医療センター栄養科長/栄養経営士
	小林明子氏	公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター附属病院中央診療部門栄養管理部主任栄養技師(NST担当)/栄養経営士
	田村佳奈美氏	福島学院大学短期大学部食物栄養学科講師、かとう内科クリニック非常勤管理栄養士

特集 ICTを活用し支部研究会に参加してスキルアップしよう!

日本栄養経営実践協会では、各支部で栄養経営士向けに研究会を開催しています。集合研修が難しい現在はオンラインでのWEB受講がメインなので、全国どこからでもどの支部の研究会にも参加できます。参加すると、管理栄養士としてのスキルアップはもちろん、グループワークを通じて同じ志を持つ仲間との交流も図れます。この機会にぜひ、気になる研究会に参加してみてください!

【東海支部】セミナーレポート

管理栄養士一人ひとりの栄養指導の質の向上で業務の標準化を目指そう

栄養指導業務の標準化を目指す!管理栄養士スキルアップセミナー

「栄養指導力がぐんぐんアップする検査数値の読み解き方」

3月13日(土)に日本医療企画中部支社主催、日本栄養経営実践協会東海支部後援で「栄養指導業務の標準化を目指す!管理栄養士スキルアップセミナー」をWEBで開催しました。講師はJA愛知厚生連豊田厚生病院栄養科栄養管理課課長の森茂雄氏が務め、栄養指導の標準化をテーマに講演。全国各地から栄養経営士、管理栄養士、栄養学生等が120名以上参加しました。

検査数値から課題抽出を行い、栄養指導の確認項目を絞る

栄養指導業務の標準化を目指すためには、栄養指導の質の向上と一人ひとりの管理栄養士のレベルアップが必要となります。標準化するための1つの手段として、栄養管理プロセスの活用が挙げられますが、そこで栄養診断コードを正しく選ぶためのスキルが求められます。その栄養診断コードを正しく選ぶためには、検査数値を栄養士が目線で読み解く力が必要であることから、JA愛知厚生連豊田厚生病院の森茂雄氏が検査数値

の読み解き方について講演しました。

森氏は「栄養指導力を上げるためには、検査数値を複合的に判断して検査数値を課題抽出の予測材料として扱うこと、そこから栄養指導の確認項目を絞ることが重要」と述べ、検査数値の異常が栄養とどのように関係があるのか、検査数値の読み解き方のポイントをエネルギー、たんぱく質、炭水化物、脂質、水、食塩等それぞれの項目に分けて解説しました。

最後に、森氏は「栄養指導の質・レベルを上げるためには、栄養指導を行う際に何の根拠に基づいて、どのように判断したかを明確にすることが必要になる。さらに栄養指導業務の標準化を目指すためには、先輩が後輩を指導できるような仕組みを作っていくことが重要」と訴え、講演を締めくくりました。

その後、今回ご協賛いただいた太陽化学株式会社メディケアグループの今堀夏奈美氏が高発酵性の水溶性食物繊維「サンファイバー」の商品を紹介しました。

参加者からは「明日からの業務に活かし、患者さんのサポートを全力で行っていききたい」「標準化された検査数値をただ覚えるだけだったが、異常である理由や根拠、患者さんの食生活や体重などを加味したうえで、検査数値と照らし合わせて指導していきたい」「今後の臨床はもちろん、部下の教育にも役立てたい」等、前向きな感想を多数いただきました。東海支部では、引き続き栄養業務の標準化を目指すためのスキルアップ勉強会を開催していきます。



講師はJA愛知厚生連豊田厚生病院栄養科栄養管理課課長/栄養経営士の森茂雄氏が務めた

【北海道支部】セミナーレポート

介護・診療報酬の背景と今後の方向性を知り医療専門職としてのこれからの考える

健康寿命延伸に貢献する栄養管理のあり方とは~2040年を見すえた介護報酬改定&診療報酬改定の流れを学ぶ!

北海道支部は3月14日(日)、「健康寿命延伸に貢献する栄養管理のあり方とは~2040年を見すえた介護報酬改定&診療報酬改定の流れを学ぶ!」を開催しました。多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長の石井富美氏が講師を務め、ライブ配信での講義を行いました。

令和3年度の介護報酬改定の概要と背景

今改定では全サービスの基本報酬が引き上げられたなか、老健の短期入所療養介護費等、一部の加算が引き下げになりました。それについて「介護保険(社会保障費)の給付対象として『あるべき姿』になっているかどうかが問われている」と石井氏は解説。医療・介護保険制度の改革にあたり「大きなリスクは共助、小さなリスクは自助」の原則を徹底し、介護の軽度者向け生活援助サービスのあり方の見直しや、加算の効果について整理・検証し、今後の改定に反映させていくことになる」と説明しました。

認知症施策、看取り、自立支援・重症化防止と科学的介護推進体制加算、感染症や災害への対応力強化

管理栄養士に関わる加算を中心に、新設・改正された加算について、なぜそうなったのか、今後どうなるのかを交えつつ説明しました。

とくに大きなウエイトを占めている科学的介護の推進については、ADL維持加算が見直され「単位数10倍、算定要件は緩和、でもCHASEでの提出

が必須」となったり、自立支援促進加算では医師との連携に加えCHASEでの提出とフィードバック活用を行う必要があったりと、随所に散りばめられていることを確認。「医療と同様に、介護もエビデンスを取りながら進めていくことになる」と話しました。

介護の質と働き方改革

介護サービスの質の評価で「構造、過程、結果」の3つの視点について言及されていることに触れ、石井氏は「医療の質の評価と同じ。アウトカムの考え方や、診療報酬の考え方に近くなっている。データを取るのも、最終的にアウトカム評価をしやすくするためのもの」と指摘。

また「栄養は関われば関わるだけ効果が出る。栄養士が介入するだけで『こんなに効果があった』というデータを出せばアウトカムが取れる。自分たちの関わりがきちんと評価されるデータを出そう」と参加者に呼びかけました。

これからの介護保険事業

健康寿命の延伸が叫ばれるなか、コロナ禍で在宅高齢者の栄養状態の悪化が進んでいることを紹介。そのうえで、石井氏は「医療・介護の専門職は、本当にそのサービスが必要になったときだけでなく、予防や生活の支援も必要とされている」と説明し「地域包括ケアシステムのフィールドは“地域での暮らし”。生活の中に専門職の目を入れ、生活の視点で専門性を活かしてほしい」と訴え、セミナーを終了しました。



オンラインながら何度かQ&Aもあり参加者と交流しながら講義が進められた

新しい栄養部門をつくろう! 3stepで学ぶマネジメント講座

講師 石井富美

●日程と内容

- 5月15日(土) 13:30~15:30
 - ・病院経営の仕組み
 - ・実績データ活用方法(生産性、品質という視点でのQI)
- 6月19日(土) 13:30~15:30
 - ・ロジカルシンキング
 - ・栄養部門の事業計画、KPIの設定方法
- 7月17日(土) 13:30~15:30
 - ・チームビルディング
 - ・人材育成とこれからの専門職のあり方

●参加費

- 【会員】8,000円(税込・全3回) ※各回参加は3,000円(税込)
- 【一般】11,000円(税込・全3回) ※各回参加は4,000円(税込)

●問い合わせ

株式会社日本医療企画北海道支社(担当:横尾)
TEL:011-223-5125

【九州支部】セミナーレポート 今改定で管理栄養士の役割が強化され必要性が増す介護報酬に 栄養分野のポイントが分かる!2021年度介護報酬改定セミナー

九州支部は3月6日(土)、「栄養分野のポイントが分かる! 2021年度介護報酬改定セミナー」を開催しました。講師は特定医療法人谷田病院・事務部長の藤井将志氏が務め、オンラインのライブ配信で行いました。

栄養ケア・マネジメントの充実

栄養マネジメント加算が廃止され、基本サービスに包括化されます。

▼現行 → 改正後

- ・栄養マネジメント加算:14単位/日
- ・低栄養リスク改善加算:300単位/月



- ・栄養ケア・マネジメントの未実施:14単位/日減算 ※3年の経過措置期間あり
- ・栄養ケア・マネジメント強化加算:11単位/日

▼現行 → 改正後

- ・栄養士を1名以上配置



- ・栄養士又は管理栄養士を1名以上配置

栄養ケア・マネジメントが実施されていないと、基本報酬が減算されます。低栄養リスクが高い者を対象とする低栄養リスク改善加算は廃止され、入所者全員への栄養ケアの実施や栄養ケアに係る体制の充実を評価する加算に見直されます。また、管理栄養士の配置について、常勤換算方式による確保が求められます。

藤井氏は管理栄養士の配置について「管理栄養士の体制を充実させることで、低栄養の利用者が少ない・在宅復帰率が高いことなどが調査で判明した。今回、栄養ケア・マネジメント加算

が基本報酬に包括されたのは「栄養ケア・マネジメントはやって当たり前」という考え方が浸透している証。強化する体制が整っていなければ、評価されなくなる」と説明しました。

多職種連携における管理栄養士の関与の強化

介護保険施設での看取り対応に関連する加算(看取り介護加算、ターミナルケア加算)や褥瘡マネジメント加算・褥瘡対策指導管理の算定要件、基本報酬の算定要件に、関与する専門職として管理栄養士が明記されました。

自立支援・重度化防止を効果的に進める

リハビリ・機能訓練、口腔、栄養に関する加算等の算定要件とされている計画作成や会議について、リハ専門職、管理栄養士、歯科衛生士が必要に応じて参加することが明確化されました。

各種計画書については、重複する記載項目を整理するとともに、それぞれの実施計画を一体的に記入できる様式が設けられます。

通所系サービスについて

管理栄養士と介護職員等の連携によるアセスメントの取り組みが新たに評価されます。

▼現行 → 改正後

- ・栄養スクリーニング加算:5単位/回



- ・口腔・栄養スクリーニング加算加算(I):20単位/回、加算(II):5単位/回

▼新設

- ・栄養アセスメント加算:50単位/月

栄養改善サービスの提供に当たって、必要に応じ居宅を訪問することが新たに求められます(1カ月に2回算定可)。

▼現行 → 改正後

- ・栄養改善加算:150単位/月 → 200単位/月

利用者ごとに、管理栄養士・看護職員・介護職員・生活相談員その他の職種の者が共同して栄養アセスメントを実施し、利用者本人又はその家族に対してその結果を説明、相談等に必要に応じて対応することが求められます。

LIFEの加算について

CHASEは自立支援・重度化防止の効果が裏付けられた「科学的介護」の実現のため、利用者の状態やサービスの内容等の幅広い情報を集めるデータベースで2020年から運用開始しています。VISITは通所リハや訪問リハに特化し、リハビリテーション計画書等の情報を集めたもので、18年度改定で評価され、リハビリマネジメント加算(IV)が設けられました。この2つを統合して「LIFE」とし、データ提出とフィードバックにより、事業所単位でのPDCAサイクルを確立し、ケアの質向上の取組を推進することが新たに評価されます。

藤井氏は「今回の仕組みは、病院でのDPCのようなデータ収集に近くなった。介護の現場では導入には負担がかかるとの声も多いが、病院ではデータが可視化されたことで治療の標準化が進んだ。介護でも、データを活用していくことで、最適な介護サービスにつながるのではないかと参加者に科学的介護の意義を伝え、講義を締めくくりました。

★新会員サービス「オンラインサロン」大好評開催中!

アウトカムを示す論文作成に協会理事の先生方が心強い味方に!

本協会の栄養経営士・栄養経営サポーターのみが無料で参加できる「オンラインサロン」。第3回は2月26日(金)18:30より約90分間行われました。今回は宮澤靖代表理事、吉田貞夫理事、山下茂子理事が参加し、寄せられた質問や悩みに参加者全員で意見を出し合いました。

この日は、「論文の読み方、書き方」について理事の先生方から貴重なアドバイスがありました。

どうすれば論文に慣れることができるのか、英語の方がよいのかという問いに、この日参加していた『栄養経営エキスパート』査読委員でもある手塚山大学准教授の阿部咲子氏は「自分の論文を書くために、興味ある論文を読んでいる。日本語の論文で基本的な内容を頭にいれつつ、英語論文は翻訳ソフトを駆使しながら読む感じ」と紹介。吉田理事からも「自分も知りたい内容の論文が英語しかなくて必要に迫られて読んでいる。最初は意味がわからなくても、いくつか読み用語がわかるようになると、少しずつ読めるようになる。オンラインの検索サイト(*)や翻訳ソフトを活用して読んでほしい」との話がありました。

宮澤代表理事からは「論文が読めると、医師をはじめ他職種に提案するときの説得力が全然違う。ただ、トピックスが厚いので英語論文のほう

がお勧め。COVID-19の栄養療法に関する論文も海外でははじめ、ASPENのガイドランも出た。ゆっくりでいいので、読む習慣をつけるとよいのでは」とアドバイスがありました。

その後、論文執筆の話になり「論文の独特の書き方や体裁に慣れていないと、査読に通ることが難しい」という指摘が。そこで阿部氏同様に査読委員をしている吉田理事から「アイデアはあるけれど書き方がわからないなら、ぜひ書く前に相談してほしい。協会に連絡をすれば、理事の先生方がアドバイスをくれるから、一緒に進めよう」と提案がありました。宮澤代表理事も「査読論文が出せれば、厚労省に栄養経営士をアピールすることができる。アイデアから相談にのるので、ぜひ連絡してほしい」と発言。栄養経営士の論文作成に心強い言葉をいただきました。査読論文の執筆について相談したい会員がいらっしゃれば、協会事務局までご連絡ください。

協会では今後も「オンラインサロン」の実施を予定しておりますので、まだ参加されたことのない方はぜひご参加ください!

*PubMed(パブメド)
https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/
アメリカ国立医学図書館(NLM)が管理・提供しているデータベースで、世界中の主要な医学系雑誌に掲載された生命科学分野の論文が検索可能。日本語で使い方を紹介したサイトも多数ある。

▼2月26日(金)の話題

- ・働き方改革、医師の負担減でみんなは何をやってる?
- ・介護施設から病院への転職。監査で必要な書類や、介護施設と病院の監査の違いが知りたい
- ・給食がニュークックチルに変わります。導入にあたり、気をつけることはある?
- ・論文が苦手だけハードルを下げる方法があれば知りたい。英語よりも日本語からはじめたほうがいい?
- ・大学病院で管理栄養士の病棟配置をはじめたい。どこからは始めるのがおすすめ?
- ・給食を直営から全面委託に変更するとき、調理員さんたちの雇用はどうする?
- ・経験は10年あるけど、給食管理が中心で実践不足。後輩にどう指導すればいい?
- ・病院の上層部から栄養指導とNSTしか認めてもらえない。プレゼンしても増員は却下。どうすればいい?

■栄養経営士 第5回オンラインサロン

- ◇開催日時:4月後半~5月前半予定 18:30~
- ◇参加対象:栄養経営士・栄養経営サポーター
- ◇受講料:無料
- ◇定員:先着30名 ※先着順、事前登録必須
- ◇開催形式:オンライン配信(ZOOM)

※お互いの顔を見ながら会話をするので、カメラ・マイク機能が使えないパソコン・タブレット等をご用意ください
※個別の症例の相談にはお答えできません

栄養経営士が知っておきたい!

イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策で、イベントが中止になる場合があります。必ず最新情報を確認してください。

北海道支部

高齢者施設&在宅の栄養ケアを見直そう! ~2021年度介護報酬改定をふまえて~

高齢者施設で暮らす高齢者の臨床栄養のポイントやこれからの訪問栄養で求められる栄養士の役割、看取り時の栄養ケアや献立の工夫といった施設で実践する取り組みについて、スペシャリストや第一線で活躍する管理栄養士が解説します。

- 日 程：2021年4月17日(土)13:00~16:00(予定)
- 講 師：武部久美子氏(名寄市立大学 栄養学科 教授)
中村育子氏(名寄市立大学 栄養学科 准教授)
本田美鈴氏(社会福祉法人馬島福祉会特別養護老人ホーム
恒春園 管理栄養士)
- 形 式：オンライン開催 (Zoom使用) ※ライブ配信のみ
- 参加費(税込):【会員】2,000円 【一般】3,000円
- 定 員：100名(先着順)
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画 北海道支社(担当:横尾)
TEL:011-223-5125

三経営士合同研究会

ひまわり先生の交流分析を用いた 医療者のためのコミュニケーション実践講座

今回は「交流分析学を用いた医療者のためのコミュニケーション基礎セミナー」です。「交流分析」の考え方を学び、自己理解の促進とコミュニケーションの仕組みについて心理的な視点から理解を深め、患様様や職場でのコミュニケーションを見直しましょう。

※交流分析:心理療法の理論のひとつで、より良いコミュニケーションを図るための手法としても用いられている

- 日 程：2021年4月17日(土)13:00~16:00
- 講 師：米倉けいこ氏(株式会社メンタルサポート研究所)
- 形 式：オンライン開催 (Zoom使用) ※ライブ配信のみ
- 参加費(税込):【会員】4,000円 【一般】5,000円
- 定 員：100名(先着順)
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画 九州支社(担当:中野)
TEL:092-418-2828

セミナー情報

誰も教えてくれなかった看取りの栄養ケア!! 栄養面から考える終末期の患者を支えるケアの実践

看取りの栄養ケアについて、受講者が個々の倫理観に従って実践するための基本となる考え方が整理できるようになることを目指します。教科書的にいわれている終末期の栄養ケアについて整理した上で、癌終末期と高齢者の看取りを題材に、実際の栄養ケアを掘り下げます。

- 日 程：2021年4月18日(日) 10:30~16:30
- 講 師：森 茂雄氏(JA愛知厚生連豊田厚生病院 栄養科栄養管理課 課長)
- 形 式：オンライン開催 (Zoom使用) ※ライブ配信のみ
- 参加費(税込)：18,700円
- 定 員：25名(先着順)
- お問い合わせ：E-mail:stepup@stepup-corp.com

協会事務局より

2021年4月期限の会員の皆様へ 【年度会費納入および資格更新のご案内】

本年4月に年度会費・会員資格の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年度会費納入および資格更新のご案内を郵送しております。振込み期限は過ぎておりますが、事務局ではまだ手続きを受けつけております。対象の方はご確認およびお手続きのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

- 年度会費：有効期限が2020年4月20日~2021年4月19日の方
【個人正会員】10,000円
【栄養経営サポーター】8,000円
- 資格更新：会員資格が2018年4月20日~2021年4月19日の方
【個人正会員】15,000円(年度会費込み)
※申請書類・課題をご提出ください。
【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)
- お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会 事務局
TEL:03-3553-2903

2021年度「栄養経営士」資格認定試験はIBT方式に変わります!

「栄養経営士」 資格認定試験

- 試験日:2021年3月22日~ ※毎日受験可能
- 受験料:9,500円(消費税・システム利用料込み)
- 実施方法:IBT(Internet-Based Testing)方式
※インターネットを経由しスマートフォン、タブレット端末、パソコンを使用して受験
- 受験エントリー期間:2021年3月1日~(通年)
- 受験資格:管理栄養士(実務経験2年以上)かつ「栄養経営士」資格認定基礎講習修了者

「栄養経営士」資格認定基礎講習は
WEB・DVDによる受講も可能です!

DVD受講は3枚組、特典映像
「近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて」付き

くわしくは

🔍 栄養経営士

検索

